



編集発行
 公益財団法人 不老会
 〒460-0008
 名古屋市中区栄
 2丁目10-19
 名古屋商工会議所内
 9:00~12:00 13:00~17:00
 土日祝休
 電話 (052)203-4580
 FAX (052)253-7123
 ホームページ
<http://furo-kai.or.jp>

第四十八回 献体者顕彰式並びに
ごみょうさつ
 第三十八回 御名札納め式

令和四年五月十七日(火)、名古屋市千種区平和公園内「献体の塔」に不老会関係者約二百五十名が集い執り行われました。

式辞

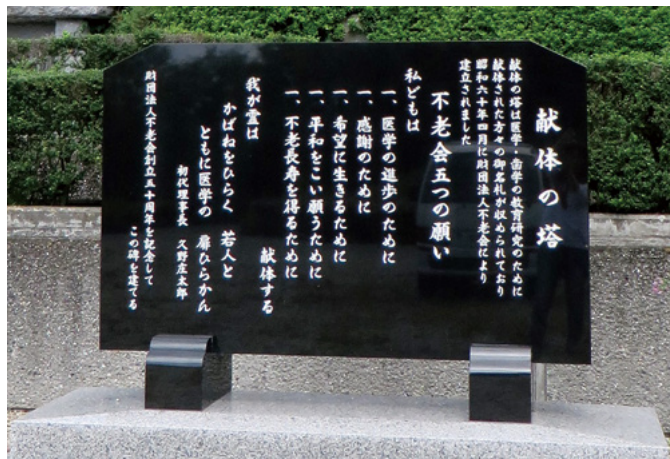
理事長 久野 格彦

新緑の大変心地よい季節となりました。本日ここ平和公園の高台にそびえる献体の塔にて、「第四十八回献体者顕彰式並びに第三十八回御名札納め式」の式典を挙げるにあたり、不老会を代表して謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年一昨年と二か年に渡り、新型コロナウイルスの感染リスクを回避するために規模を大幅に縮小しての開催でありましたが、本日の式典は感染拡大防止措置を取りながらあります



不老会 久野格彦理事長



が、ご遺族様にご参列頂き式典が挙行できますことは不老会会員一同にとってこの上ない喜びであります。

皆さまご案内のように、不老会の由来は戦後最大の国家事業 愛知用水建設事業の推進過程で、犠牲になられた五十六柱の御霊の慰霊鎮魂への思いから、医学の発展に寄与する献体組織として昭和三十七年一月に設立されました。

以来、今日まで医学・歯学教育の根幹をなす人体解剖と、視覚に障害を持つ方々に光を差し上げる献体・献眼活動を展開してまいりました。

本日、御名札をお納めするこの献体の塔は、多くの皆さんの善意に支えられて昭和六十年四月に建立され、三十七年が経過したところであります。

不老会創立から今日までに、登録会員総数は二万四千八百余名に達し、既に成願された会員の総数は一万一千百八十柱となりました。本日に新たに御名札をお納めするのは二百二十九柱の御霊であります。

ここに成願者の献体・献眼のご意志を尊重しお支え下さったご遺族の深いご理解とご協力に對し、衷心より敬意と感謝を申し上げます。

今日まで県内五大学の医学・歯学部におかれましては、成願者の崇高な献体の志を無にすることなく、手厚く迎え入れて頂いた事に心より感謝を申し上げます。

また、先進的な医学・歯学医療の教育にも多大な成果をあげておられ、今後、より一層優れた医師や医療従事者の育成にご尽力されることを切望して止みません。

依然として新型コロナウイルス感染が収まらない中で、医療従事者の方々の懸命なご労苦ご努力は報道等で知るところであります。そのような制約の多い厳しい状況下においても、解剖



参列者

教育の充実に取り組んで頂いている事に深く感謝申し上げます。

われわれ不老会員は、無条件無報酬の献体・献眼運動に一層真摯に取り組む、医学・歯学の進歩・発展に寄与し、眼の不自由な方々に光をお届けし、世界の平和のために一人ひとりの力は小さくとも 互いに手を取り合って目的に向

かって前進することをここにお願い申し上げます。

献体成就なされた先人の皆さん、どうか私達不老会の活動をこれからもあたたかく見守りお導きください。

終わりに、ご遺族のご健勝と一万一千百八十柱の御霊の安らかならんことをお祈りして式辞といたします。

顕彰のことば

愛知県知事 大村 秀章

公益財団法人不老会の第四十八回献体者顕彰式並びに第三十八回御名札納め式が挙行されるに当たり、謹んで顕彰のことばを申し上げます。

医学の進歩発展を願い、無償・無条件で献体をされ、本日「献体の塔」に御名札が納められます不老会物故会員の方々の御遺徳をたたえ、その崇高なる精神に対しまして深く敬意を表します。

医学及び歯学教育における人体解剖実習は、今後の医療を担っていく学生が、医学の基礎である人体の構造と機能を学ぶために必要不可欠



愛知県保健医療局技監 長谷川勢子様

な場であるとともに、人間の尊厳、生命への畏敬の念を体得する極めて貴重な機会でありま

す。
また、御遺体を用いた研修は、医師の手術手技の向上のために欠かせないものとなっているだけでなく、医師以外の医療専門職の技術向上にも資する、大変貴重な場となっております。

さらに、目の不自由な方々のために角膜を御提供いただくことにより、多くの方々が光と大きな喜びを取り戻すことができます。

このように、献体により愛知県における医療の進歩・確保に大きく貢献していただいております。

ますことは、不老会会員の皆様方並びに御遺族の皆様方の深い御理解と御協力の賜物であり、ここに深く感謝申し上げる次第でございます。

最後に、これまで献体をされました物故会員の方々の御冥福を心からお祈りいたしますとともに、今後、不老会の活動の輪が更に拡がりま

慰霊のことば

献体先五大学代表

愛知医科大学 医学部長 笠井 謙次

すことを御祈念申し上げ、顕彰のことばといたします。
本日、ここに公益財団法人不老会関係者並びに来賓各位のご参列のもと、第四十八回献体者顕彰式並びに第三十八回御名札納め式が執り行われるに際し、愛知県の医科歯科系五大学を代表して、謹んで慰霊のことばを捧げます。

医学あるいは歯学を学び、医療に携わる者にとりまして、人体の構造と機能を深く理解するために、系統解剖学が欠かすことのできない極めて大切な学問であることは申すまでもございません。

不老会結成以来、医学や歯学の進歩発展を願



愛知医科大学 医学部長 笠井謙次様

い、人類の健康・福祉増進のため、自ら進んでご遺体を捧げられました方々は、一万千八百八十柱となりました。

また、不老会は、二万四千八百四十八名の会員を擁するまでに発展され、その比類なき功績は周知の通りであります。

系統解剖学によって、多くの学生と研究者がはかり知れぬ貴重なご教示と知見を賜ることができまことは、ひとえに、自らのご意志で、ご遺体を医学・歯学の教育・研究のために捧げるという皆様の崇高なる精神に支えられているのであります。このような皆様の尊きご遺志が、



参列者

まさに日進月歩の現代の医学・歯学を根底で支えていると申せましょう。

私どもは、皆様のご恩徳に報いるため、この尊きご遺志を今後とも深く心に銘記し、医学並びに歯学の進歩発展のために更なる努力を重ねてまいることが、私どもに課せられた責務であると痛感いたしております。

ご成願なさいました皆様、どうか安らかにお眠りください。

ここに五大学を代表して衷心より御礼申し上げます、慰霊のことばといたします。

感謝の言葉

献体先五大学学生代表

愛知医科大学医学部 秋山 綾香

本日、第四十八回献体者顕彰式並びに第三十八回御名札納め式にあたり、愛知県、医科歯科系五大学学生を代表いたしまして感謝の言葉を述べさせていただきます。

解剖実習では、今まで教科書でしか学ばなかったことを実際に目で見て、手に触れることができたことで、人体の構造の複雑さや精巧さ、多様性などを実際に感じ、知識をさらに身に付けることができました。これは、私たちの学習のために自らのお体を捧げてくれた方々がいるからこそできる体験であり、感謝の気持ちとともに、その期待に応えるべく、できるだけ多くのことを学ぼうと思いました。

また、私が実習で学んだことは、医学の知識だけではありません。それは、患者様とのつな

がりの大切さです。御献体くださった方は、私にとって初めての患者様です。初めて出会ったとき、私にさまざまなことを語りかけてくださったように感じました。解剖実習をしていくなかで、たくさんの医学の知識、命の尊さを教えてくれました。そして、私がこれから医師になるということを実感させ、覚悟をつけさせてくれました。この経験は、私がこれから目指す先にいる患者さんひとりひとりの存在が、私自身を向上させてくれるであろうと、教えてくださいましたものであり、患者さんに信頼され、患者さんに寄り添っていける医師になるよう努



愛知医科大学医学部 秋山綾香様



献花

力していこうという決意につながりました。改めて、多くのことを私たちに教えてくれるこのような貴重な体験を与えてくださった故人の方々、そして了承してくださったご遺族の方々、そして不老会を築き、大変なご時世の中、本日このような式典を主宰してくださった公益財団法人不老会の皆さまに深く感謝いたします。たくさんの方々のご尽力、ご協力、そして

固いご決意によるこの経験は、私たちにとても大切な二度と忘れないものとなります。日々変化していく社会情勢、それに伴い進歩していく医学・医療に向き合っていくなか、これから先、私たちは、たくさんの方の困難に立ち向かうことでしょう。そのとき、この実習で自らで得た様々な感情、そして心に決めた決意は、私たちの背中を押してくれるものになると思います。今後も、勉学に励み、みなさまの期待にこたえられる医療人を目指し続けていきたいと思えます。

最後になりましたが、医学・歯学を目指す私たちに大切なお体をご献体してくださった方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、ご遺族の方々、並びに不老会関係者の方々に熱くお礼申し上げます。感謝の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございます。

遺族代表あいさつ

森崎 麻充

本日、第四十八回献体者顕彰式並びに第三十八回御名札納め式を、厳粛に執り行って頂き、



遺族代表 森崎麻充様

深く感謝しております。また、成願者二百二十九名の御名札を、献体の塔にお納め頂きましたことは、遺族として大変名誉な事でございます。ありがとうございます。私事で恐縮でございますが、父についてお話しをさせていただきます。父、森崎敬玉は八十九歳で旅立ちました。日蓮宗の僧侶でございました。中年期の目標は、大荒行の一千日満行と、当時住職をしていた寺の本堂再建でした。この二つの目標は、周りの多くの皆さんのおかげで、



玄室内風景

無事に達成することが出来ました。
その後の目標は、生涯現役であることでした。
住職を退いてからは、自宅に祈願所を開き、亡くなる二日前まで信者の家にお経に出かけ、また先祖供養を行い、僧侶として全うしました。

病はありましたが、主治医の先生方のご尽力により、父の希望通り、最後まで自宅で過ごすことが出来ました。また同居してありました孫娘一家、特にひ孫の成長を毎日見る楽しさ、父に生きる活力を与えていたと思います。
亡くなる前に、母が思い残すことはないか尋ねましたところ、

「思い残すことは何もない。百点満点」

と言いました。これは、父にとって人生の大きな目標を、全て成し遂げたからこそ、出た言葉だと思っています。

愛知医科大学の武藤教授とのご縁により、五十歳代半ばに決意した献体で、父の一生はずべての幕が下りました。

献体したことで、私共は、お骨をまだ目にする事なく、日々過ごしています。何だか、父がまた荒行にでも出かけているような気もして、直面する悲しみからとても救われています。

父は生前、亡くなくても魂は残ると申しおりました。きっと今日もこの場を見ていることと思います。

そこで、川柳を趣味とした父が、辞世の句を残しておりますので、詠ませて頂きます。

「持ち物も からだ 身体も置いて よみ 黄泉の旅」

(朝日新聞 岐阜柳壇 掲載日不祥)

では、最後になりましたが、本日ご臨席の皆様と、不老会会員さま方のご健康とご多幸を祈念して、遺族代表あいさつとさせていただきます。ありがとうございます。

追悼 常務理事 早川佳教さま



昭和四十九年に入会され、平成二十六年より名古屋大学部会長を務められ、多くの会員の信頼を集められた早川佳教さまは、令和四年四月十七日八十一才で成願されました。

感謝と共にご冥福をお祈りいたします。

医学のおはなし

歯周病という言葉を目にするようになって随分経った気がします。歯周病とは、かつて「歯槽膿漏」と言われていたものと同じ病気です。歯を失う原因の第一位となっており、食事を美味しくいただく、楽しい毎日をお過ごしこの天敵のような存在と言えます。そして、歯周病の厄介なところは、かなり重症になるまで自覚しにくい病気だということなのです。自覚症状がないままゆっくり進んでいってしまふため、おかしいなと感じてから歯科を受診しても、治療の選択肢が抜歯しかないというところも少なくありません。

歯周病という言葉を耳にするようになって随分経った気がします。歯周病とは、かつて「歯槽膿漏」と言われていたものと同じ病気です。歯を失う原因の第一位となっており、食事を美味しくいただく、楽しい毎日をお過ごしこの天敵のような存在と言えます。そして、歯周病の厄介なところは、かなり重症になるまで自覚しにくい病気だということなのです。自覚症状がないままゆっくり進んでいってしまふため、おかしいなと感じてから歯科を受診しても、治療の選択肢が抜歯しかないというところも少なくありません。

歯周病とカラダの健康

愛知学院大学

歯学部歯周病学講座 教授

三谷章雄

にかかっていることでカラダの健康に悪影響を及ぼすこともわかってきています。例えば、歯周病になっていている人は、糖尿病、脳卒中や心筋梗塞（脳・心臓血管疾患）、早産、肺炎などの病気のリスクを高め、その進行を早めてしまうという研究報告がいくつかあります。さらには、アルツハイマー病やがんになるリスクも高まるという報告もあります。実はこの静かなる病気「歯周病」は、歯を支える組織だけでなく、カラダをも蝕んでしまっている可能性があるのです。そのように考えると、とて

も恐ろしい病気だと言えます。施設に入って過ごしている方も、医療・介護関連肺炎というものに注意しなければなりません。この主な原因となるのが誤嚥性肺炎です。誤嚥性肺炎は、飲みこみ動作を誤って、食道ではなく気管にツバや食物を

いる場合、誤嚥性肺炎での死亡率が高くなることも報告されています。では、歯周病から身を守るには何をすれば良いでしょうか？ まずは、出来るだけ毎食後に歯間ブラシと歯ブラシを丁寧に行うことが最も有効な予防手段となります。そして、二〜四ヶ月に一度程度は歯科を受診して、専門的な歯周病治療やお手入れをしてもらうことをお勧めします。介護等で通院できない場合も、自宅や施設まで歯科医療スタッフに来てもらう訪問歯科を利用して専門的なお手入れをしてもらうと状態は改善するはず

お口とカラダの健康のために、歯科として微力ながらも手伝いできることはたくさんあります。そして読者の皆様には、いつまでも笑顔で過ごしていただきたいと思います。

「愛知学院大学不老会員の集い」並びに 「解剖慰霊祭及び返骨式」について (お知らせ)

平素より歯学の教育・研究のためにご協力賜りまして誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、令和四年度に開催予定の「愛知学院大学不老会員の集い」につきまして、新型コロナウイルス感染症が終息していないため、皆様の安全を第一に考慮しました結果、本年度の開催を中止するといたしました。

なお、十月七日(金)に予定しております解剖慰霊祭及び返骨式につきましては、最善の注意を払いご遺族及び大学教職員のみで営むことといたしましたので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

皆様方のご息災を心よりお祈り申し上げます。

(公益財団法人) 不老会 会員各位

愛知学院大学長

不老会愛知学院大学部会長

引田弘道

田川悦子

「名古屋大学不老会員の集い」 開催中止につきまして(お知らせ)

平素より医学の教育・研究のためにご協力賜りまして誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、令和四年度「名古屋大学不老会員の集い(講演会)」の開催に向けて、新型コロナウイルス感染症の情勢を注視しておりますが、感染者数の増加は抑えられているものの一定数の感染は未だ続いております。感染の脅威は低下したとはいえ、当分の間は持続的な感染対策が大学内でも求められております。

このような状況のもと、大変に苦渋の決断ではございますが、今年度の「会員の集い」の開催を中止させていただくことに致しました。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、十月十三日(木)午後一時三十分より覚王山日泰寺にて予定しております令和四年度の名古屋大学医学部解剖弔慰祭は、まだまだ最善の注意を払う必要がありますので、今年は医学部生と大学関係者のみで営む予定でございます。よろしくお願い申し上げます。

(公益財団法人) 不老会 会員各位

名古屋大学医学部長

不老会名古屋大学担当理事

木村宏

杉浦康夫

公益財団法人不老会 名古屋市立大学会員のつどいのご案内

令和四年度の名古屋市立大学会員のつどいを左記のとおり開催いたしますので、市立大学に登録されている会員の皆様におかれましては、健康に充分ご留意の上ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

日時 令和四年十月十八日(火) 午前十時より
会場 名古屋市立大学本部棟四階ホール

●ご出席いただける方は、ハガキに「会員のつどい出席」と明記し、会員番号、住所、氏名を記入の上、十月四日(金)までに左記にお送り下さい。

●新型コロナウイルス感染予防のため換気等を十分に行った上で学生代表との懇談及び健康講話のみを行い、会食は取りやめさせて頂きます。

●愛知県に新型コロナウイルス感染拡大防止等の措置が講じられた場合は、変更することがあります。

●ご出席の方はマスクの着用をお願いします。

本案内をもって通知に代えさせていただきます。なお、当日午後二時より「さくら講堂」において、名古屋市立大学解剖感謝式が執り行われますことを併せてご案内申し上げます。

(公益財団法人) 不老会 会員各位

名古屋市立大学医学部長

高橋 智

名古屋市立大学部会長

齊藤 光男

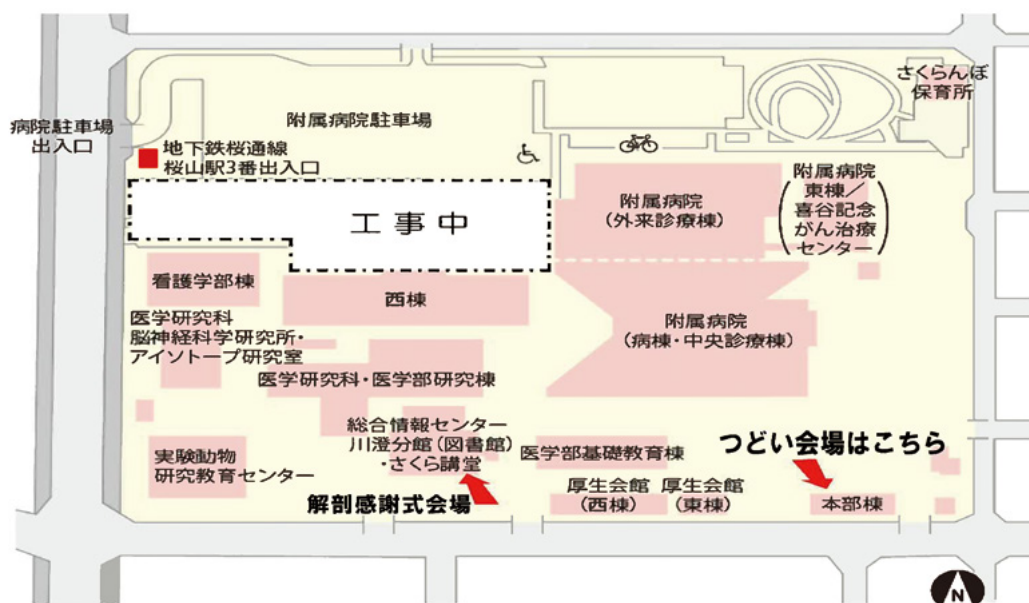
(送付先)

〒四六七-八六〇-一 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄一

名古屋市立大学医学研究科 統合解剖学分野気付

不老会名古屋市立大学部会

電話(〇五二) 八五三一八二二



地区代表者会議

去る4月18日(月)に名古屋商工会議所ビル3階第5会議室にて開催されました。

次の事項についての説明及び報告が行われました。

(事務局)

- ・令和4年度事業計画及び収支予算について
- ・地区活動費交付要綱別表の改正について
- ・募金箱の設置管理について
- ・任期満了による役員(理事・監事)の改選について



令和4年度 第1回定時理事会

去る5月26日(木)に名古屋商工会議所ビル3階第8会議室にて開催されました。

令和3年度事業報告書(案)、令和3年度計算書類(決算案)、理事及び監事の候補者推薦名簿(案)及び評議員の補欠選任に係る候補者推薦名簿(案)並びに定時評議員会の招集についての議案が原案のとおり承認されました。(事務局)



令和4年度 第1回定時評議員会

去る6月17日(金)に名古屋商工会議所ビル3階第6会議室にて開催されました。

令和3年度計算書類(決算案)、理事・監事の任期満了に伴う選任の件、並びに評議員の辞任に伴う補欠選任の件についての議案が原案のとおり承認されました。

また、令和3年度事業報告書についての説明が行われました。(事務局)



令和4年度 第2回臨時理事会

去る6月17日(金)評議員会終了後に不老会会議室にて開催されました。

理事長、副理事長及び常務理事の選定が行われました。

また、指定寄付金の受入れについての議案が原案のとおり承認されました。(事務局)

お知らせ

不老会事務所の夏季お休み 8月15日(月)～8月17日(水)

役員等新体制のご紹介

去る6月17日(金)に理事及び監事の改選並びに評議員の補欠選任が行われ、新役員が決定されましたので、ここに改めて、不老会全体の役員等新体制をご紹介します。

評議員	鈴木 孝平	西尾市	(現)	
評議員	藤田 正行	尾北	(現)	
評議員	眞野 道子	岐阜	(現)	
評議員	坂野 克巳	大府東海	(現)	
評議員	佐原 好治	豊明市	(現)	
評議員	若山 正憲	揖斐本巣	(現)	
評議員	高村 美子	瑞穂区	(現)	
評議員	大山 尚毅	岡崎	(現)	
評議員	加藤登志雄	東区	(現)	
評議員	樋口日出子	名東区	(現)	
評議員	鈴木 慎吾	熱田区	(現)	
評議員	大角 幸恵	愛知西部	(現)	
評議員	田中 裕二	瀬戸尾張旭	(現)	
評議員	石原百合香	西区	(現)	
評議員	竹内 司	知多市	(新)	
理事長	久野 格彦	中区	(再)	会の代表
副理事長	杉浦 康夫	千種区	(再)	会の代表補佐 名大部会長
副理事長	山本 一義	西尾市	(再)	会の代表補佐 大学委員長 藤田医大部会長
常務理事	藤内美也子	日進愛知	(再)	広報委員長 愛知医大部会長
常務理事	浅井 直樹	愛知西部	(再)	組織委員長
常務理事	杉山 雄彦	中村区	(再)	総務委員長
理事	近藤 良三	半田市	(再)	
理事	櫻場 敬信	知多南部	(再)	
理事	徳倉 頌子	豊橋市	(再)	
理事	田渡 英男	大垣	(再)	
理事	齊藤 光男	昭和区	(再)	名市大部会長
理事	早川 幸生	知多市	(再)	
理事	金山 文雄	岡崎	(再)	
理事	田川 悦子	蒲郡市	(再)	愛知学院大部会長
理事	眞野 正彦	一宮市	(新)	
監事	小林 収	豊田みよし	(新)	
監事	堀 恭次	大垣	(新)	

なお、役員の任期は次のとおりです。

評議員：令和2年6月16日～令和6年度の最初の定時評議員会まで 4年
(但し、今回補欠選任された方は、前任者の残任期間となります。)

理 事：令和4年6月17日～令和6年度の最初の定時評議員会まで 2年

監 事：令和4年6月17日～令和8年度の最初の定時評議員会まで 4年

不老ウォーキングクラブ

不老会のルーツ、愛知用水のおゆみをたずねて (5月19日)



木曾川の水を
知多半島に引けたら…

久野さんの熱い思いから、
愛知用水を造る運動が始まりました。

不老ウォーキングクラブは、兼山取水口（八百津町）から入鹿水路橋（犬山・明治村の近く）～水辺公園（春日井市岩成台）を散策～庄内川をまたぐ愛知用水サイホン橋（春日井市）へマイクロバスをチャーターして22名の参加を得て行われました。好天に恵まれ、新緑と初夏の風につつまれ、先人達のご苦勞をしのぐことができました。

兼山ダムに貯えられた木曾川の水を1秒間に30立方メートルを流し（これは25mプールを約8秒間でいっぱいにする量）取り入れ口から知多半島の多くの人々に、農業また工場に水を届ける延延と120km。約13時間の水の旅のはじまりです。一大ロマンを感じると同時に、木曾川上流の人々への感謝、水への感謝を忘れないようにしたいと思います。

（幹事 杉山雄彦）



入鹿水路橋



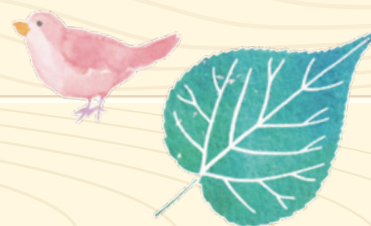
水辺公園



サイホン橋



参加者全員（兼山取水口）



ありがとう

不老会成願者から角膜の提供をうけ、光を取り戻した方々からお礼状が事務局に届きました。

- 半田市 ウエインスコット裕子様
- 稲沢市 後藤 なおみ 様
- 春日井市 辻丸 昭江 様
- 名古屋市 福満 裕子 様
- 西尾市 宮島 久美子 様

会員投稿

● 皆願うコロナロシアを早よ止めて

一宮市 渥美 栄夫

● 母の年越えて母の日母偲ぶ

大府・東浦 野村 悦子



● 夏になれば水が恋しい季節
水中で泳ぐ金魚

岡崎 嘉村 静代

献体の塔 清掃報告

五月十二日(木)
今にも降り出しそうな空模様の中、翌週の顕彰式を控え、隅々まできれいに掃除をしていただき感謝申し上げます。

参加者十三名。
(事務局)



献体の塔清掃奉仕作業のお願い

一、担当 三河ブロック

ブロックに関係なくどなたでもご参加ください。

二、日時 令和四年九月二十二日(木)

午前十時より

三、集合場所

名古屋市平和公園 献体の塔前広場

- 服装は、帽子、長袖、タオル、飲物などを用意しご参加ください。
- 参加者は全て勤労奉仕とします。